

明日へつなぐ 有間野

ありまの

ありまっぷ!





中之郷

有間野口

柏野

竹林

おさむさん

どんかめ

栗林

滝

横断歩道

お地蔵様

有間野集会所

工場

有下

有間野
析川
80M先
看板

茶畑

有上

有間野神社

常夜燈

田

かんびろ
うら

茶畑

WC

美容室

森市坂

オオク
パネガシ

山の神

鉄塔

子安地蔵

石積み
の田

せんご

雑木林

有間野
小学校

銀杏の木

番田井戸
(涌き水)

じげんじ山

浅間さん

愛染さん

山の神

蜂箱

ひみど
笥井橋

のぞき
よそごうら

登り坂

遊歩道

弁天さん

有下池

析川

析川

消防倉庫

析川

析川橋

いばらの木

浅間さん



森林の間に
水路が
通っています

昔の
井戸くみ
ポンプ

梅の木

橋の木

貯水池

沈下橋

お地蔵様

称念寺の
石碑

称念寺

ウラにはいろいろ
お地蔵様が!

山の眺め
が
すばらしい!

お滝
不動

滝

ありまの 有間野ってどんな地域?



人柄がまるやかやな。田舎の不便さはあるけどその分地域みんなて助け合ってる。まちには無い良さとかやうかなあ。

孫が遊びに来ると小さな川で水遊びをしたり魚とりをして楽しんでるよ。自分も小さい頃はよう行ったなあ。

うちから見る局ヶ岳は最高やなあ。自分は富士山やって思ってる。雲海が出たり冬には雪をかぶったり季節によって表情が違うんさ。

いろんな種類の鳥の鳴き声が聞けるし、いろんな動物も見れる。畑を荒らすのは困るけど、かわいいんさ。

榎田川の中流域にある有間野地区は人口300人程の農山村地域。神原・有上・中有下・朽川の5つの地区で構成されているが、かつては3つの村に分かれていた。また、山中にある高山地区も村だった時代がある。現在は人が住んでいないが高山にルーツを持つものが地域内に点在している。

地域を見守り続けてきた祠たち

子安地蔵
(子安地蔵尊)
元々は高山地区にあり明治時代に現在の場所に移されてきた安産祈願のお地蔵さん。昔は妊娠5か月の戌の日に腹帯を祈禱してもらう風習があった。

愛染さん
(愛染明王)
じげんじ山の頂上に祀られている。恋愛・縁結び・家庭円満をつかさどっている。

八幡さん
滝野城の戦いで亡くなった平信兼の菩提を弔うために作られたといわれている。

金刀比羅さん
神原地区の山中に祀られている。滝野城はかつてこの地にあったと言われている。

弁天さん
有下池のほとりに祀られている水の神様。楽器など芸事の神様でもある。祭典では五穀豊穡を祈念している。

黒洞不動
(俱利伽羅不動)
高山地区の黒洞から移ってきた不動さん。雨乞いの神様。江戸時代には持ち去り事件もあった。

すべての祠で祭典が行われている。

小さな山里に城跡が2つ?

有間野地区にはかつてお城(砦)があり合戦も繰り広げられていた。

滝野城(高城)

地元では「たかんじょ」と呼ばれています

神原地区の山の中にあつたとされる平安時代後期の城(砦)跡。1184年(元暦元年)に平信兼が滝野城に籠城し、源氏勢と激闘を繰り広げたが、源義経によって討ち取られた(源平盛衰記に記載あり)この時平家勢が登つたとされる険しい山道は不還道と呼ばれている。



浄源寺のルーツ

この合戦で亡くなった平信兼を弔い建てられた

鉄中城

有上地区の高台にあつたとされる戦国時代の山城(砦)跡。1577年(天正5年)に北畠家と織田家の間で戦があり、北畠家が籠って抵抗したと言われている。館があつたと考えられる場所には井戸跡が残っている。



ルーツは戦国時代にあり?

有間野地区に多い「長井」「森本」姓実は両氏とも鉄中城の合戦に参戦していた。

長井氏

近江の浅井家家臣だったが信長に滅ぼされた後、有間野の高山地区に逃げのびてきた。その後は地域の中心的存在として活躍されている。



森本氏

北畠家の家臣。織田家との戦いに敗れた後、朽川地区に定着し地域の繁栄に尽力している。

極楽寺のルーツ

長井家の菩提寺として建てられた

称念寺のルーツ

滅んだ北畠一族を弔うため建てられた

祭典カレンダー

- 1月 駅伝大会
 - 2 ☺ ハ幡さん(下旬)
 - 3 ☺ 不動さん
 - 4 ☺ 栢川の 遙拝所
 - ☺ 有間野神社
 - ☺ 弁天さん
 - ☺ 子安地蔵
 - ☺ 愛染さん
 - 6~7 浅間さん
 - 8 盆踊り
 - 10 ☺ 金刀比羅さん
 - ☺ 子安地蔵
 - 11 ☺ 有間野神社
 - 12 山の神
- ☺マークは餅まきあり☺

餅まきが"スゴイ"です!



祭典で必ず行われるもちまき。ビッグサイズの手ひらもちやかがみもちもまかれる。



餅の他にもいろいろなものが飛んでくる!

昔の餅まきは今以上に豪快! 俵が飛び木札が飛び取り合いでケンカも起きたとか。ケガをするのはあたりまえ。子どもの参加は危険だったようだ。

山の神

12月に行われる。山の神様に感謝を示す儀式。昔は夜通して"どん"と火をたき続けた。元々は子どもたちが"取り仕切る行事だった"が"少子化が進み、今では大人から子どもまで"地域のみんなが"火を囲みながら宴を開く場になっている。現在は4か所で行われている。



昔の山の神

山の神の日は12月7日。6日の夜に"どん"と火をたいた。薪となる木々を集めるのは"子ども"の仕事。11月頃から毎週みんなが"山に入り木をかき集めた。お菓子やお金の分け前が"あり上級生が"しっかり管理していた。



山の神は女の神様なので"災いをさけるため女の子は参加できなかった。"

浅間さん

愛染さんとともに"じげんじ"に祀られている。雨乞いの式が夏至の日に"高所に掲げた幣"が多く落ちると雨が多く、という言い伝えがある。今でも"栢田川で"みそぎ"をする姿"を見ることか"でき、浅間淵という名前は"その名残"。



栢川の遙拝所

明治時代に栢川の神社は"粥見神社に合祀される"ことになったが、地元"でも神社を拝めるよう"遙拝所が"作られた。昔は年2回餅まきか"行われていた。



有間野なるほど発見伝

有間野神社の古木

有間野神社境内のスキの大木は古いものは樹齢300年を超える。また境内を歩くとオオツクバネカシ、クスノキ、タブノキなど"立派な古木"たくさんみつかる。

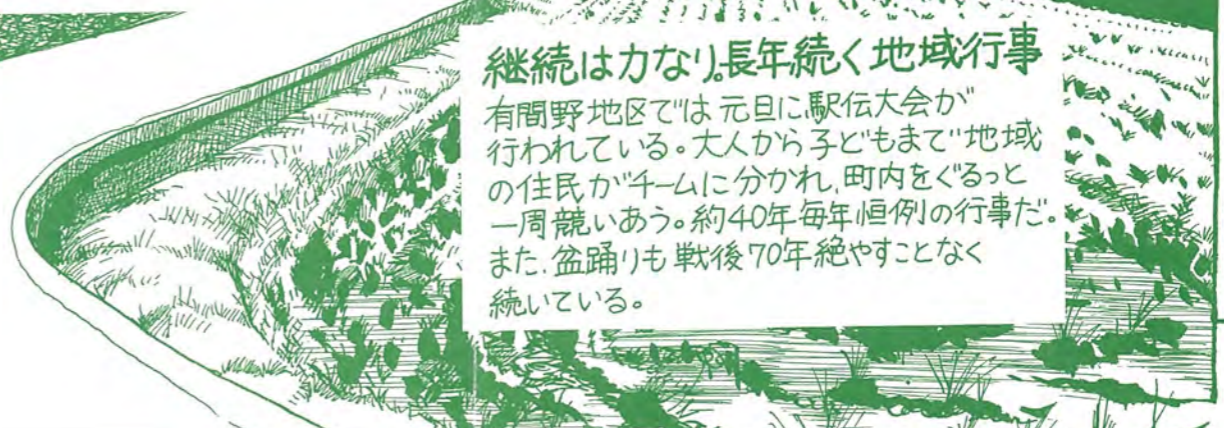


川に残る変わった名前

"のぞき"、"せんぞうら"など"川の瀬や岩場に"付けられた名前。"のぞき"は地形の特徴から。"せんぞうら"は昔の屋号から。対岸の地域では"通じない有間野独特の呼び名"だ。

有間野公園周辺の風景

極楽寺の横道を登っていくと有間野公園がある。春は桜、秋は紅葉が楽しめる。道中にある"長井米生活農場"の広大なビニールハウスは春になると"一面苗で"埋めつくされる。山から流れるきれいな水のおかげで"美味しいお米"が"できる。



案山子のオサムさん

粥見橋近くの有間野花ひろばで"は案山子のオサムさん"に出会える。家族3人で"お花を"獣害から守っている。

有間野までのアクセス
 松阪インターから約35分
 勢和多気インターから約25分
 松阪駅からバス(有間野口まで)約50分



発行元: 有間野区
 問い合わせ先: 飯南地域振興局 0598-32-2511

このマップは三重県中山間ふるさと水と土保全基金を活用して作成しました
 2017.3 発行